



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年12月25日

上場会社名 株式会社 あさひ 上場取引所 東
コード番号 3333 URL <https://www.cb-asahi.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)下田 佳史
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)森 茂 (TEL)06(6923)7900
四半期報告書提出予定日 2023年12月28日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の業績（2023年2月21日～2023年11月20日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	61,694	4.5	4,923	△7.2	5,142	△5.0	3,378	△6.3
2023年2月期第3四半期	59,057	—	5,305	—	5,411	—	3,605	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	129.36	—
2023年2月期第3四半期	138.08	—

(注)「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	52,260	37,280	71.3
2023年2月期	50,411	34,987	69.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期37,280百万円 2023年2月期34,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2024年2月期	—	22.50	—		
2024年2月期(予想)				22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年2月21日～2024年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.1	5,200	1.4	5,400	1.6	3,400	1.0	130.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	26,240,800株	2023年2月期	26,240,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	126,456株	2023年2月期	126,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	26,114,344株	2023年2月期3Q	26,114,344株

(注) 当社は2014年6月19日より「役員報酬BIP信託」を導入しております。

期末自己株式数には、当該信託が所有する当社株式(2024年2月期3Q 126,070株、2023年2月期 126,070株)を含めております。また、当該信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2024年2月期3Q 126,070株、2023年2月期3Q 126,070株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(収益認識関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症による行動制限の緩和を受け、旅行、飲食、海外からの観光客の増加など経済活動の正常化に向けて回復が見られましたが、原材料価格の高騰や国内物価の上昇並びに耐久消費財の需要低下傾向など、依然として厳しい環境が続いております。

自転車業界では、販売価格の引き上げや諸物価上昇が消費の下押し要因となり新車販売が低迷し、業界全体に減速感が漂う厳しい状況で推移しました。一方で、新車の買い替えを行わず、修理・メンテナンスしながら1台の自転車を長く乗る傾向が従来よりも顕著に現れてきました。

当社におきましては、「ネットで注文、お店で受取り」サービスの基盤強化を中心に、人気商材の確保や競争力のある販売価格の設定、並びにウェブ広告の効率運用などの実施により、ECでの販売を伸ばすことができました。また、店舗では、当社の強みである全国の店舗における修理・メンテナンスサービスの提供によって来店客数を伸ばすことができました。

諸物価上昇による消費の下押し要因に伴い、自転車業界でリユース商品への需要が高まりを見せています。当社のリユース事業では、商材を十分に確保するため、買取対象店舗数の拡充や買取後の商品化作業の効率化を行ない、事業規模の拡大に向けて取り組みました。また、着用が努力義務となったヘルメットについては、商材の安定確保を進めたことでパーツ・アクセサリーの売上高増加に貢献しました。

出退店の状況につきましては、北海道地域に1店舗、関東地域に9店舗、中部地域に1店舗、近畿地域に3店舗を新規出店する一方で、関東地域の1店舗が契約期間満了に伴い退店しました。この結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は、直営店514店舗、FC店18店舗のあわせて532店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は61,694,631千円（前年同期比4.5%増）となりました。また、営業利益は4,923,726千円（前年同期比7.2%減）、経常利益は5,142,745千円（前年同期比5.0%減）、四半期純利益は3,378,167千円（前年同期比6.3%減）となりました。

なお、当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて1,187,689千円(4.3%)増加し、28,825,745千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加5,616,820千円、商品の減少3,503,419千円、未着商品の減少881,485千円等によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて661,731千円(2.9%)増加し、23,435,166千円となりました。これは主に、建物の増加461,913千円、ソフトウェア仮勘定の増加314,985千円等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,849,421千円(3.7%)増加し、52,260,911千円となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて480,057千円(3.4%)減少し、13,841,482千円となりました。これは主に、未払消費税等の増加784,687千円、未払法人税等の増加665,873千円、買掛金の減少1,932,173千円等によるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて37,019千円(3.4%)増加し、1,139,084千円となりました。これは主に、資産除去債務の増加36,517千円、株式報酬引当金の増加13,725千円、長期未払金の減少7,020千円等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて443,038千円(2.9%)減少し、14,980,567千円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて2,292,459千円(6.6%)増加し、37,280,344千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による増加3,378,167千円、剰余金の配当による減少1,325,140千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.3%（前事業年度末は69.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年4月3日の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,312,339	10,929,160
売掛金	3,527,730	3,284,055
商品	16,483,389	12,979,969
未着商品	1,546,094	664,608
貯蔵品	161,824	144,776
その他	607,637	824,134
貸倒引当金	△960	△960
流動資産合計	27,638,055	28,825,745
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,810,806	9,272,720
土地	3,163,012	3,163,012
その他（純額）	1,426,329	1,834,004
有形固定資産合計	13,400,147	14,269,736
無形固定資産	835,647	1,037,949
投資その他の資産		
差入保証金	5,150,966	5,168,858
建設協力金	851,121	775,068
その他	2,539,355	2,186,637
貸倒引当金	△3,805	△3,085
投資その他の資産合計	8,537,638	8,127,479
固定資産合計	22,773,434	23,435,166
資産合計	50,411,490	52,260,911

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年2月20日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,176,487	3,244,314
未払法人税等	354,296	1,020,170
契約負債	4,296,017	4,087,432
賞与引当金	954,222	1,460,660
株主優待引当金	214,076	84,277
その他	3,326,439	3,944,627
流動負債合計	14,321,540	13,841,482
固定負債		
株式報酬引当金	134,750	148,475
資産除去債務	716,650	753,167
その他	250,664	237,441
固定負債合計	1,102,065	1,139,084
負債合計	15,423,605	14,980,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	31,100,689	33,153,715
自己株式	△180,112	△180,112
株主資本合計	35,147,103	37,200,130
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△159,218	80,214
評価・換算差額等合計	△159,218	80,214
純資産合計	34,987,884	37,280,344
負債純資産合計	50,411,490	52,260,911

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年2月21日 至2022年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自2023年2月21日 至2023年11月20日)
売上高	59,057,979	61,694,631
売上原価	30,458,450	32,360,325
売上総利益	28,599,529	29,334,305
販売費及び一般管理費	23,294,170	24,410,579
営業利益	5,305,358	4,923,726
営業外収益		
受取利息	32,350	29,683
受取家賃	87,547	82,233
為替差益	—	2,413
受取手数料	54,328	57,518
受取補償金	69,831	66,764
その他	36,226	57,772
営業外収益合計	280,284	296,385
営業外費用		
為替差損	93,986	—
不動産賃貸原価	69,405	62,206
その他	11,091	15,159
営業外費用合計	174,483	77,366
経常利益	5,411,159	5,142,745
特別損失		
固定資産除売却損	8,193	47,941
減損損失	19	6,452
特別損失合計	8,213	54,394
税引前四半期純利益	5,402,946	5,088,350
法人税、住民税及び事業税	1,402,000	1,507,000
法人税等調整額	395,148	203,183
法人税等合計	1,797,148	1,710,183
四半期純利益	3,605,797	3,378,167

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2022年2月21日 至 2022年11月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	42,578,390	10,158,237	—	4,098,245	56,834,873
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	118,219	2,104,886	2,223,106
顧客との契約から生じる収益	42,578,390	10,158,237	118,219	6,203,132	59,057,979
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	42,578,390	10,158,237	118,219	6,203,132	59,057,979

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。

当第3四半期累計期間(自 2023年2月21日 至 2023年11月20日)

(単位:千円)

	品目別				
	自転車	パーツ・アクセサリ	ロイヤリティ	その他	合計
一時点で移転される財又はサービス	43,238,068	11,299,944	—	4,966,217	59,504,229
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	119,908	2,070,493	2,190,401
顧客との契約から生じる収益	43,238,068	11,299,944	119,908	7,036,710	61,694,631
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	43,238,068	11,299,944	119,908	7,036,710	61,694,631

(注) 1. 当社の事業は、単一セグメントであるため、セグメント別の内訳は記載しておりません。

2. 「その他」には、各種整備、修理等の付帯サービス及び長期保証サービス等を含んでおります。